



KOBE BUSSAN CO., LTD.



平成 29 年 6 月 19 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 神 戸 物 産  
 (コード番号：3038 東証第 1 部)  
 代 表 者 名 代表取締役社長 沼田 博和  
 問 合 せ 先 代表取締役副社長 田中 康弘  
 TEL 079-496-6610

(訂正)「2017 年 10 月期第 2 四半期決算説明資料」の一部訂正について

平成 29 年 6 月 16 日に公表いたしました「2017 年 10 月期第 2 四半期決算説明資料」につきまして、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

【訂正箇所】

○4 ページ 業績ハイライト 左上グラフ【連結】神戸物産/四半期別・経常利益(会計期間)に関する記載

2017 年 2Q の数値

【訂正前】 33.7

【訂正後】 33.6

○19 ページ 2017 年 10 月期予想 単体・通期売上高に関する記載

【訂正前】

		売上高
単体・通期	2016 年 10 月期 通期実績	212,781
	2017 年 10 月期 通期予想	<u>252,400</u>
	前年比(%)	105.6

【訂正後】

		売上高
単体・通期	2016 年 10 月期 通期実績	212,781
	2017 年 10 月期 通期予想	<u>224,700</u>
	前年比(%)	105.6

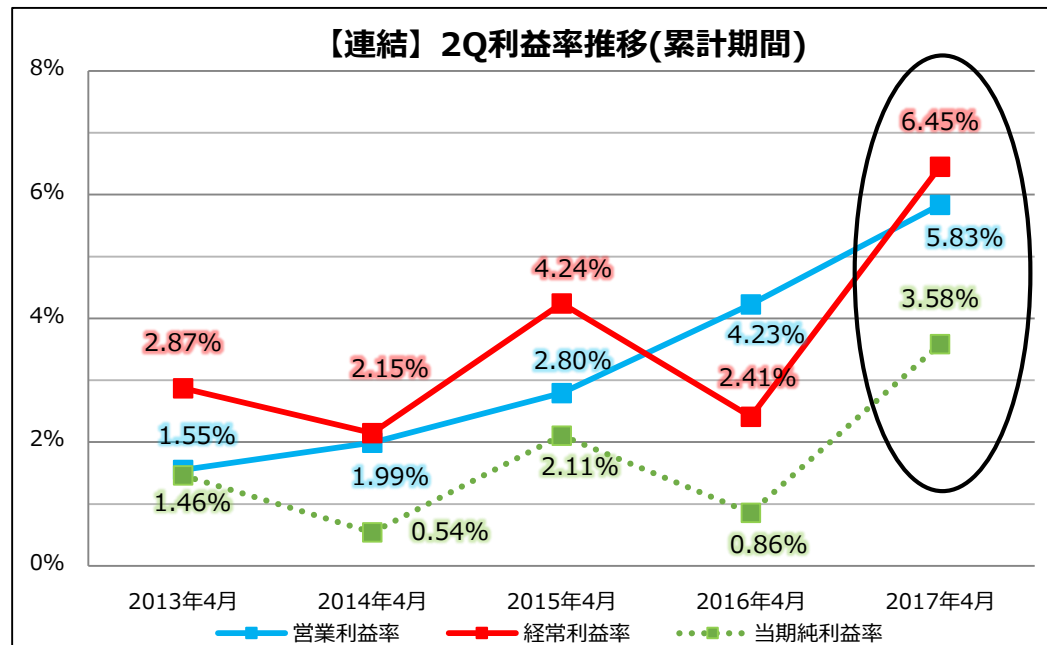
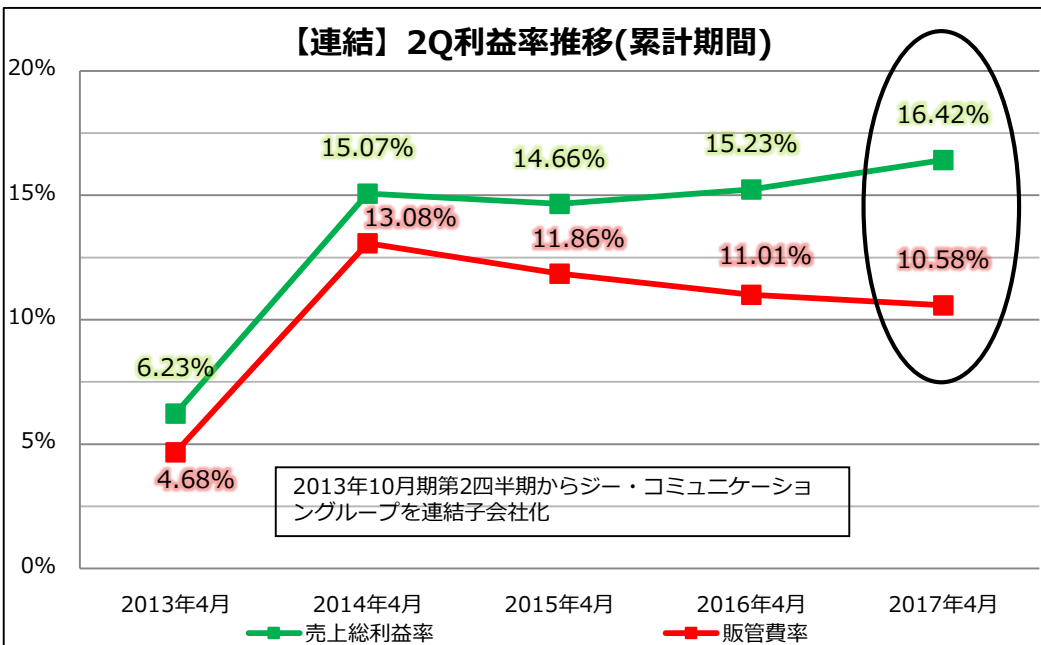
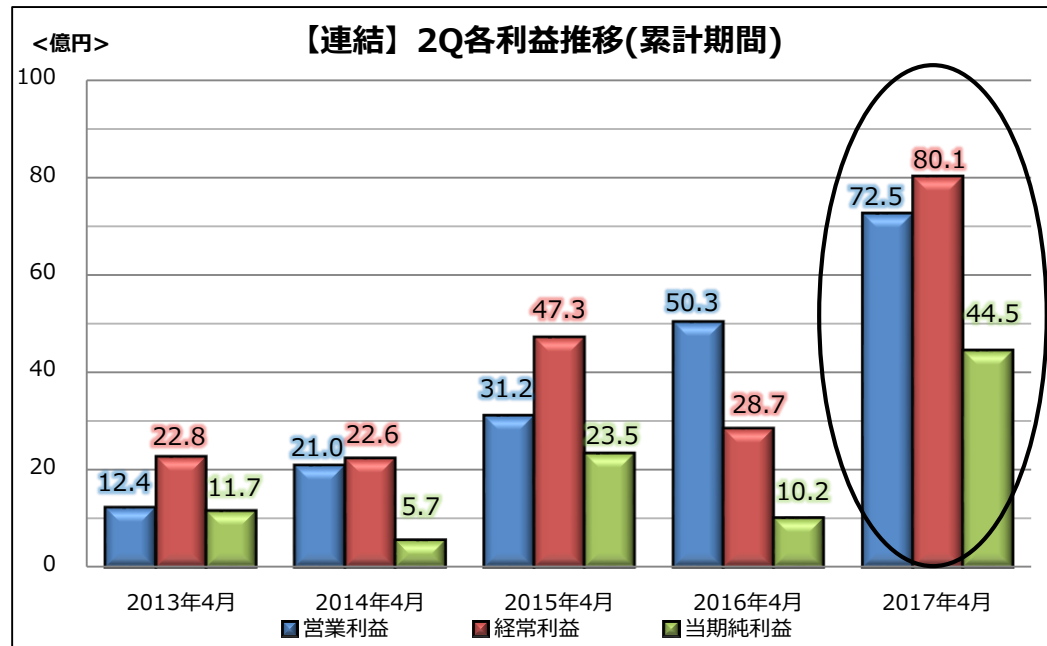
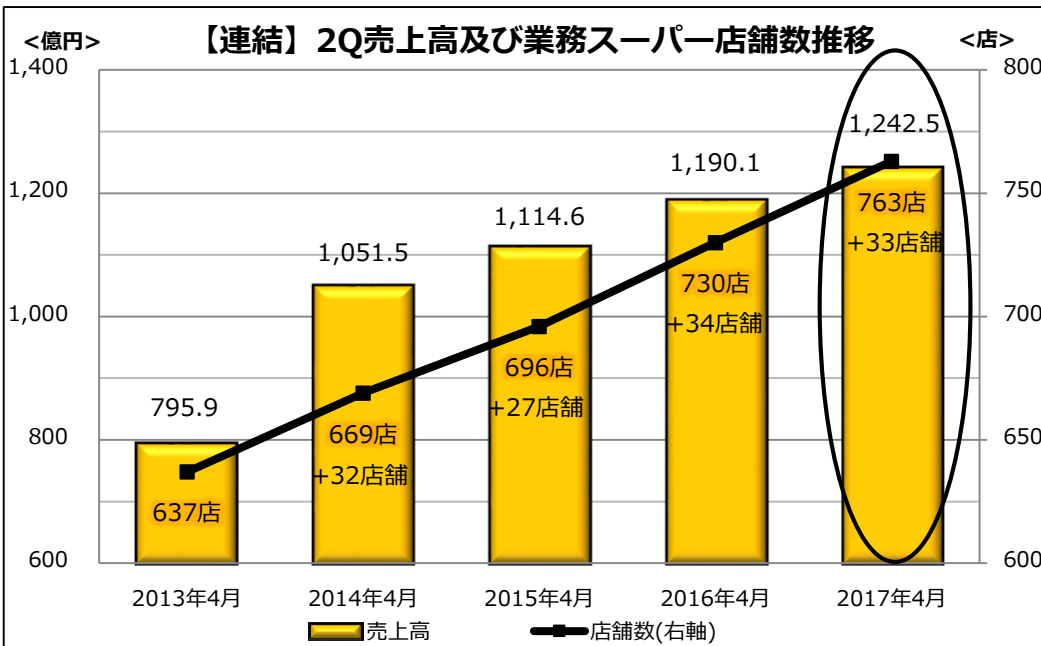
以 上

# 2017年10月期 第2四半期 決算説明資料

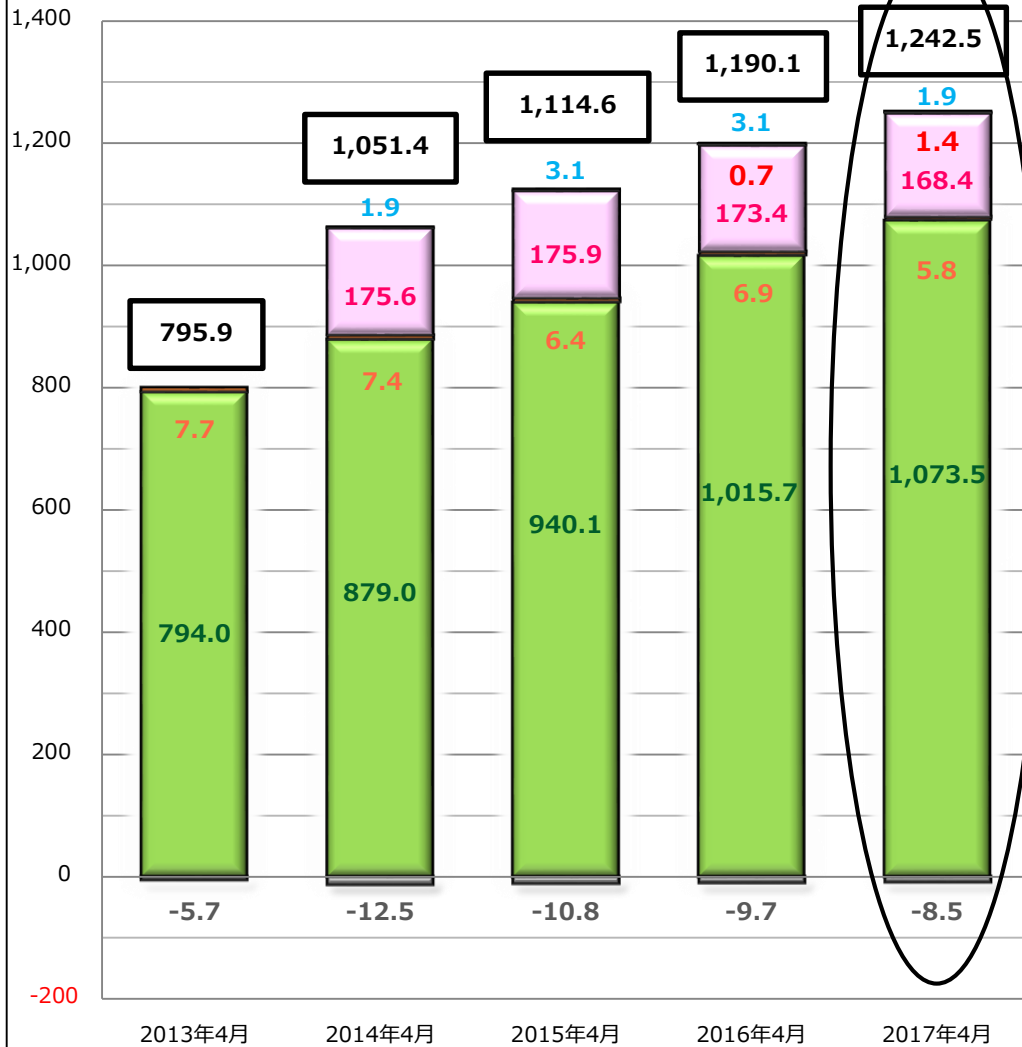
2017年6月



●業績ハイライト	1
●株主還元策	8
●神戸物産グループの概要	9
●神戸物産グループの第一次産業・第二次産業	10
●神戸物産グループの第三次産業	
・業務スーパー	11
・ガレオン	13
・神戸クック	14
・クックイノベーション	15
●エコ再生エネルギー事業	16
●掲載メディア紹介	18
●2017年10月期予想・中期経営計画	19

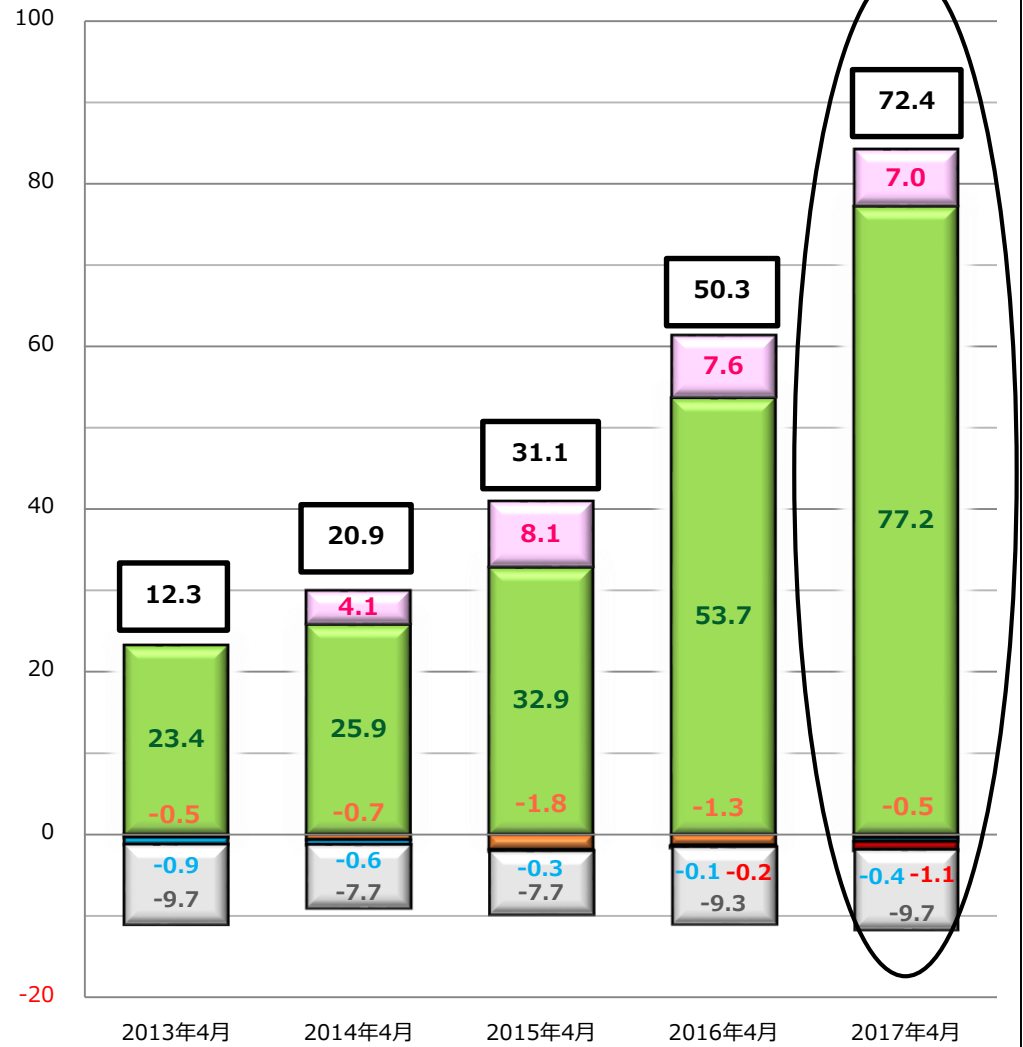


<億円> 【連結】2Qセグメント別・売上高推移(累計期間)



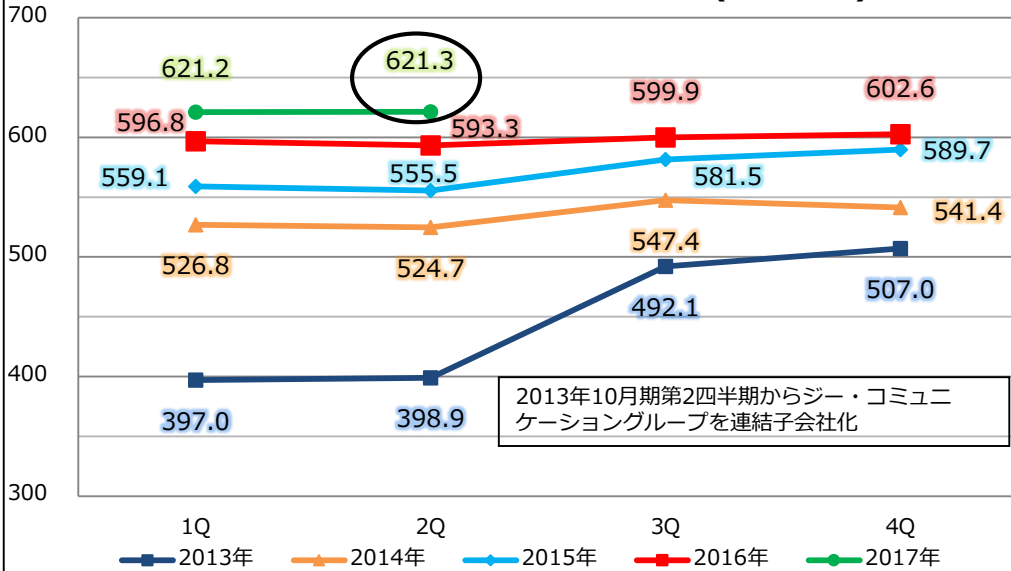
- ①業務スーパー事業
- ②神戸クック事業
- ③クックイノベーション事業
- ④エコ再生エネルギー事業
- ⑤その他
- 調整額

<億円> 【連結】2Qセグメント別・営業利益推移(累計期間)

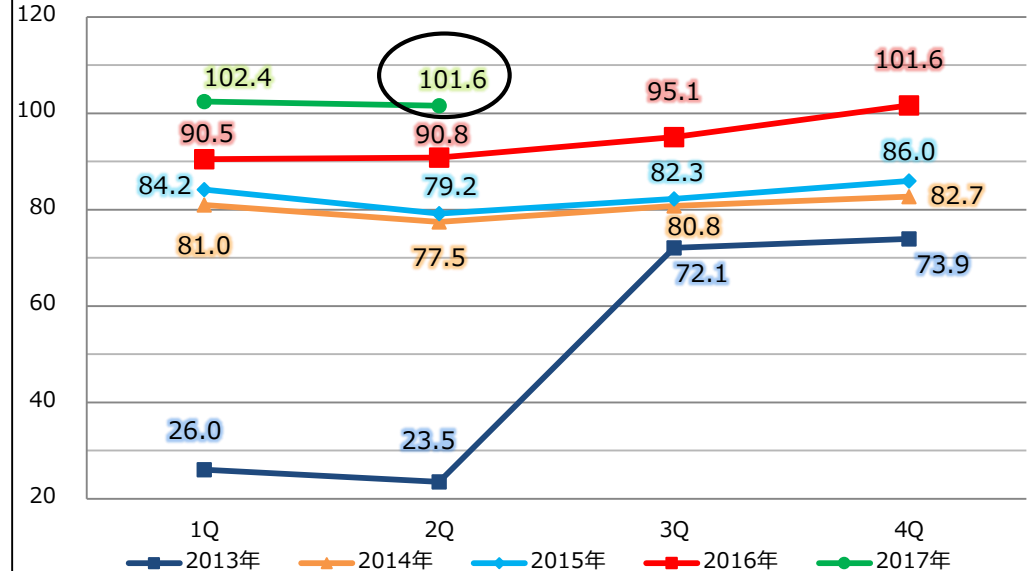


- ①業務スーパー事業
- ②神戸クック事業
- ③クックイノベーション事業
- ④エコ再生エネルギー事業
- ⑤その他
- 調整額

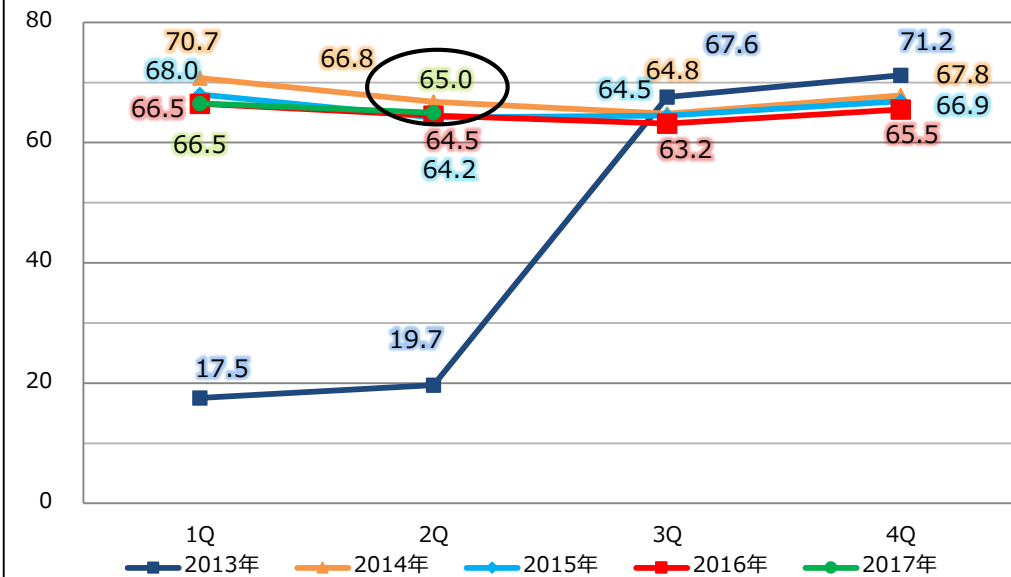
<億円> 【連結】神戸物産/四半期別・売上高(会計期間)



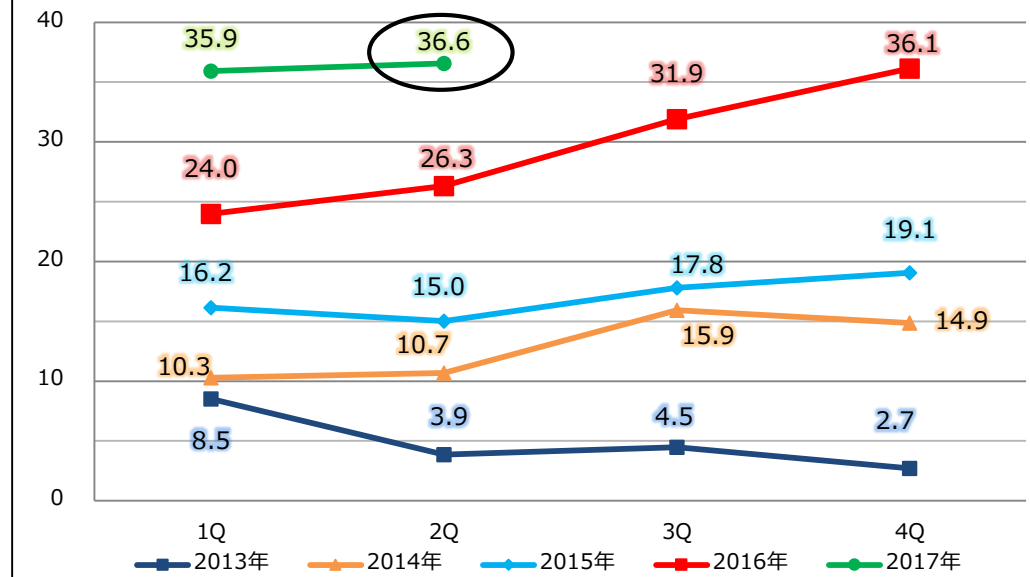
<億円> 【連結】神戸物産/四半期別・売上総利益(会計期間)

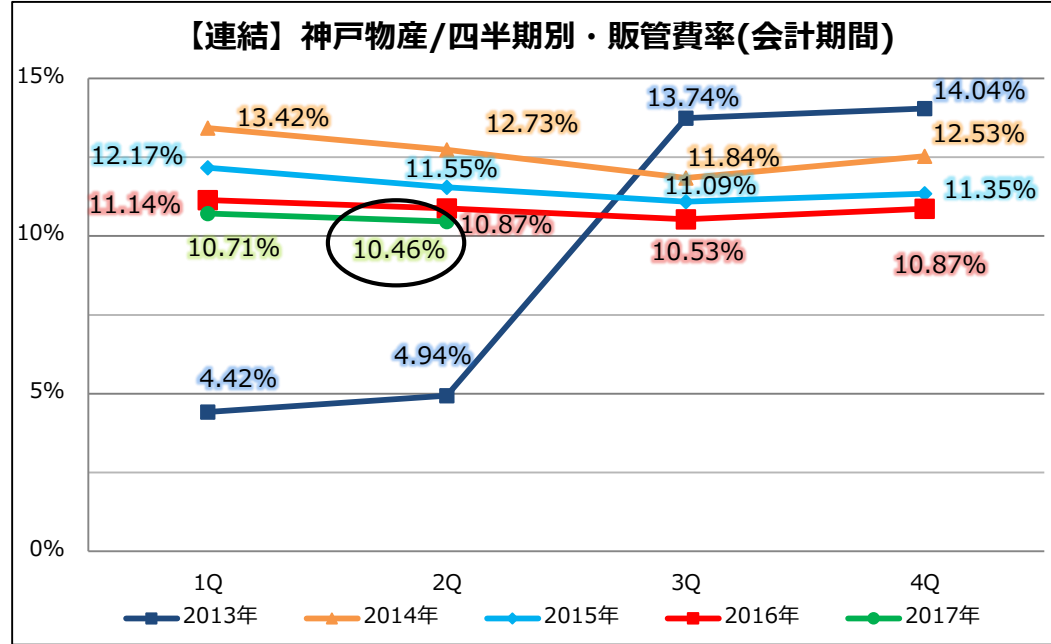
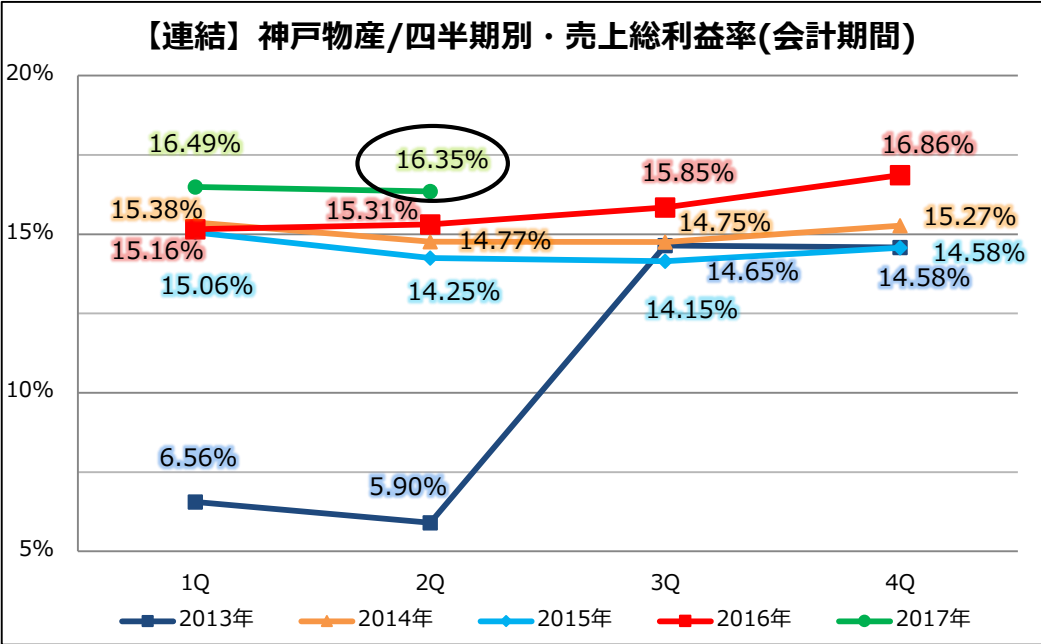
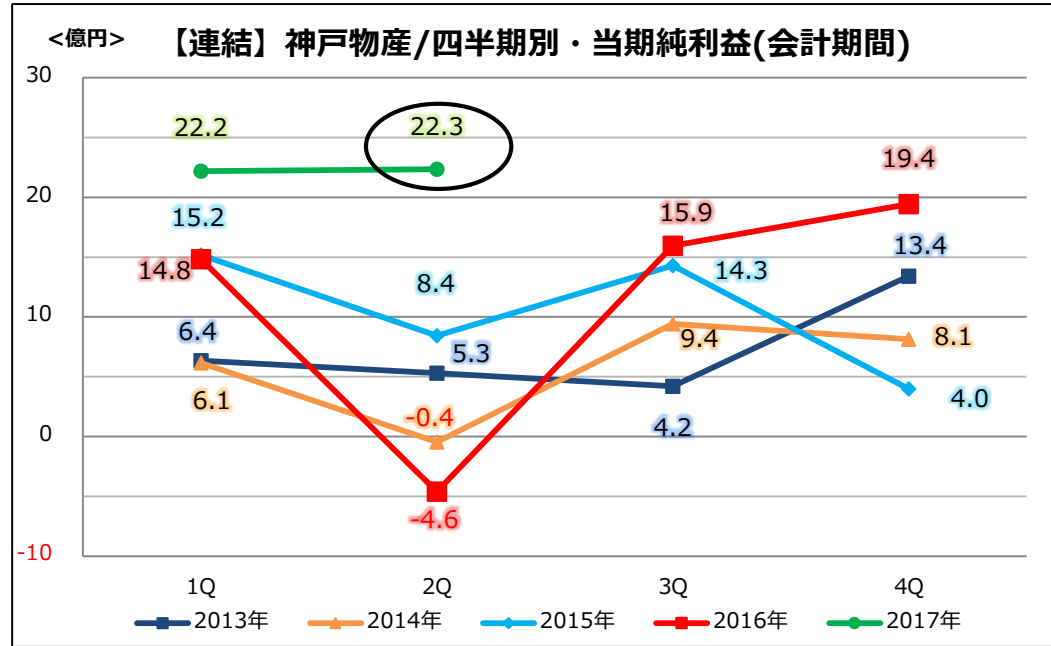
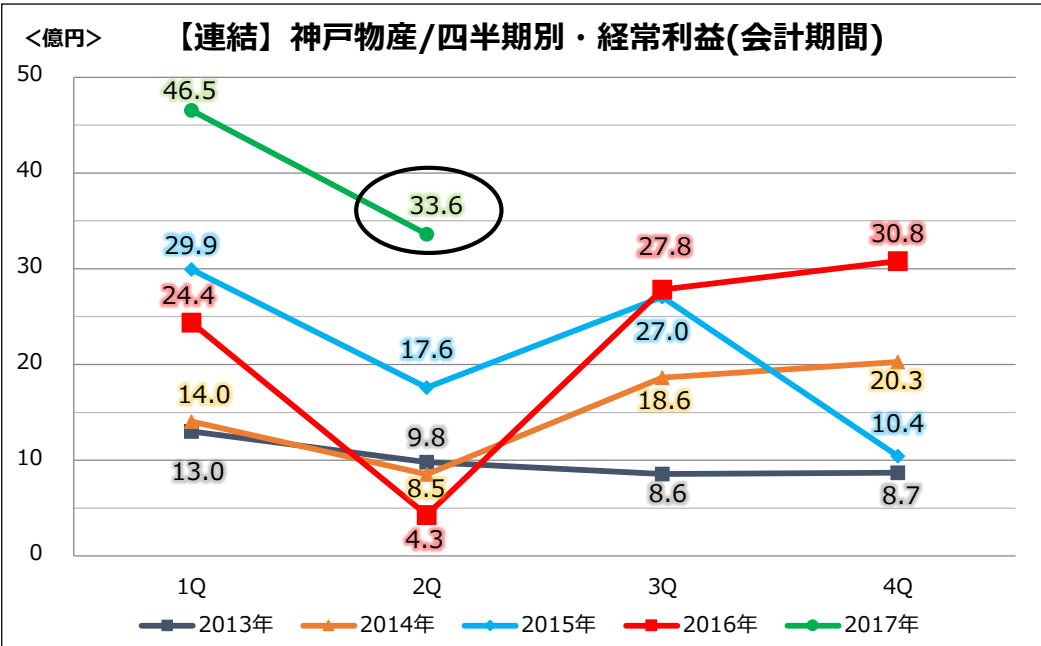


<億円> 【連結】神戸物産/四半期別・販管費(会計期間)

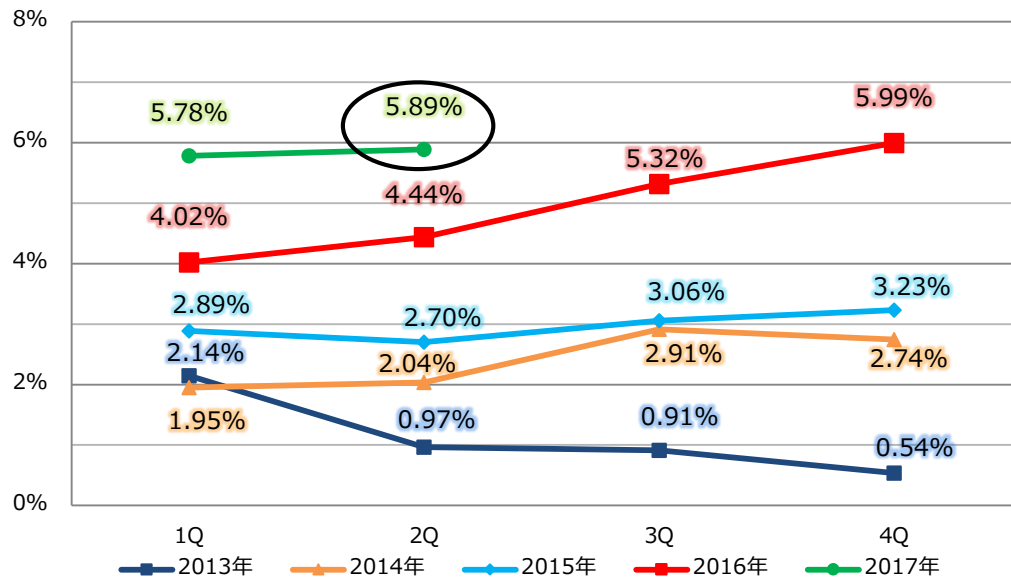


<億円> 【連結】神戸物産/四半期別・営業利益(会計期間)

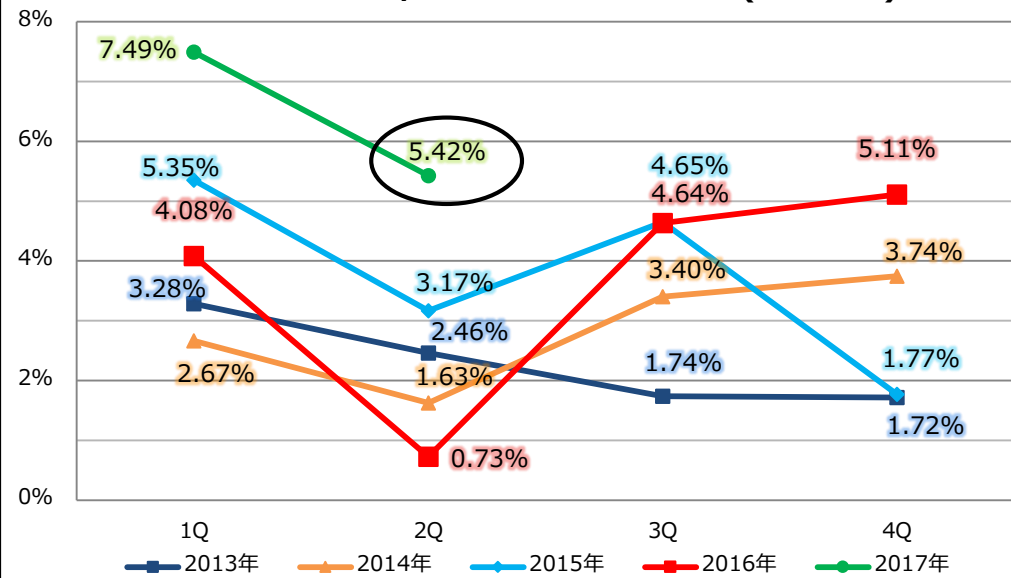




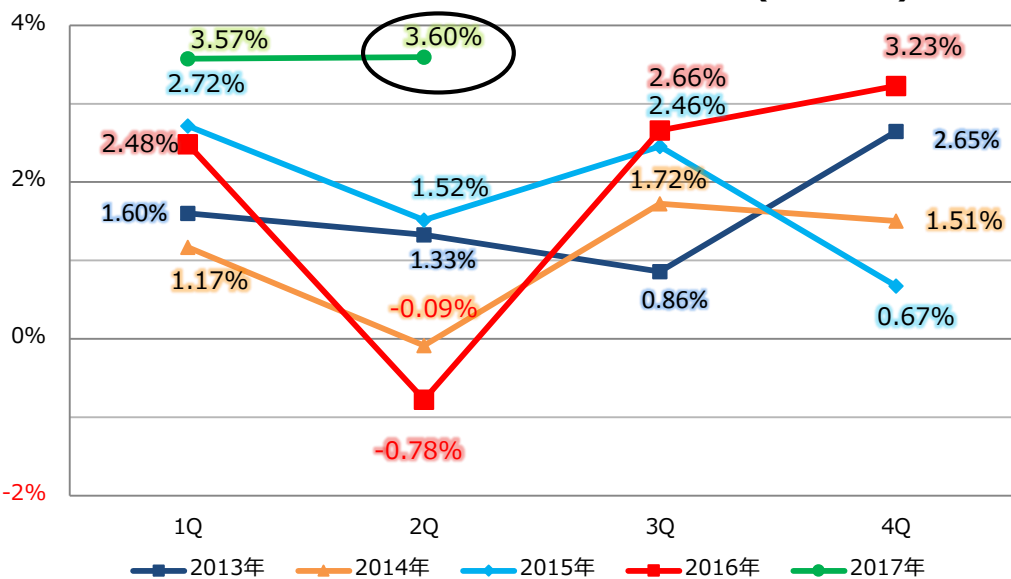
【連結】神戸物産/四半期別・営業利益率(会計期間)



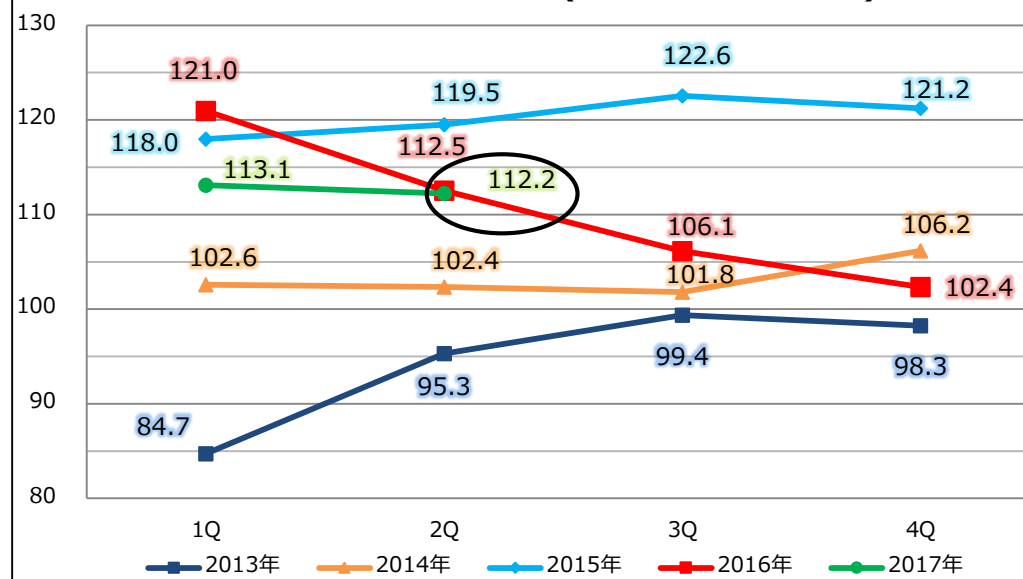
【連結】神戸物産/四半期別・経常利益率(会計期間)



【連結】神戸物産/四半期別・当期純利益率(会計期間)

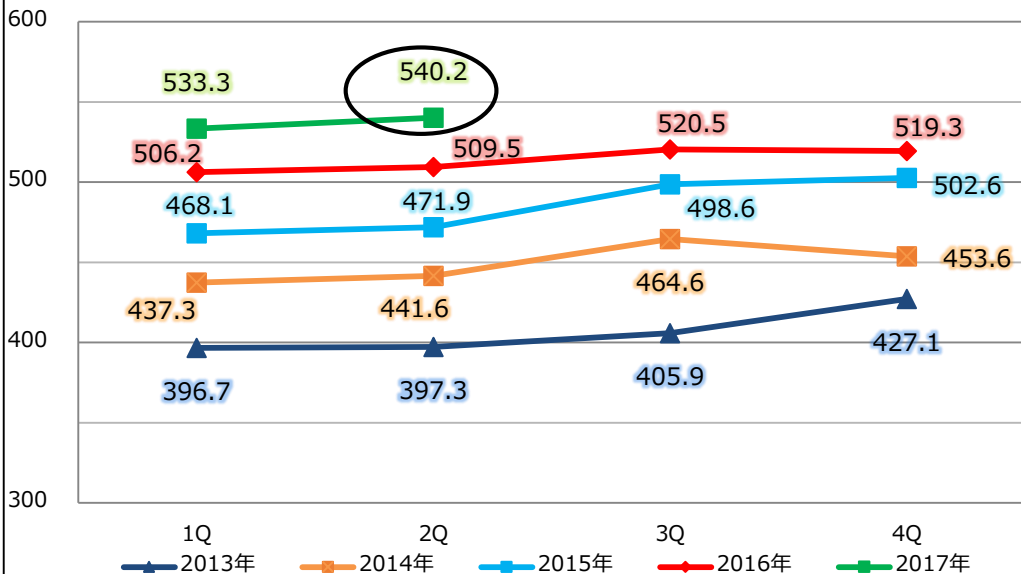


四半期別・ドル/円レート(会計期間平均レート)

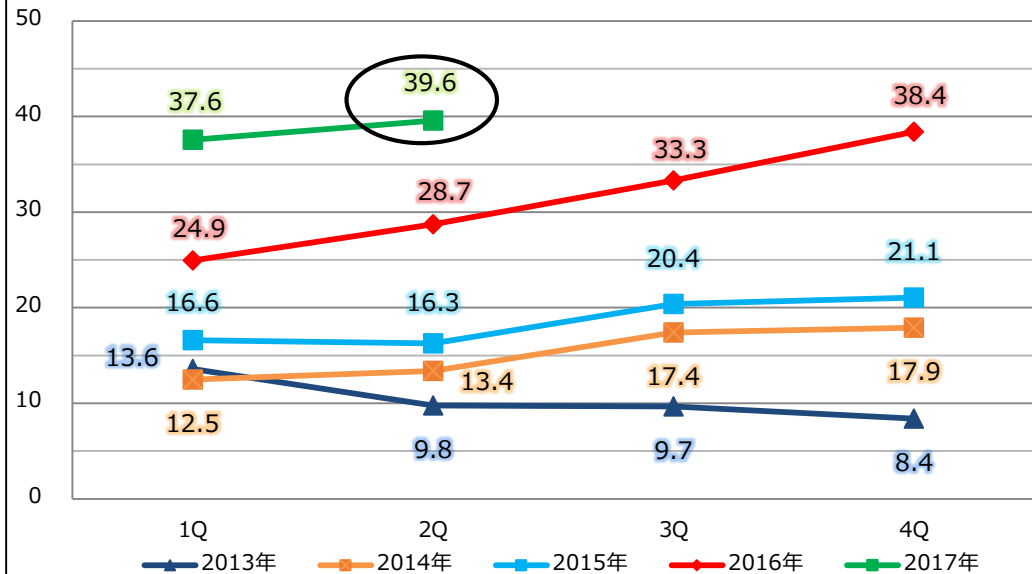




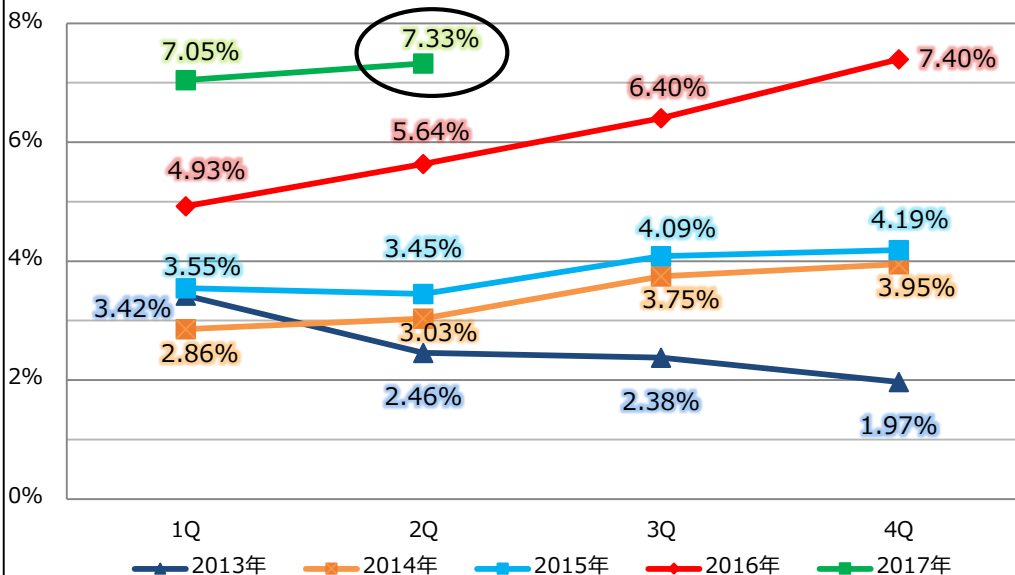
<億円> 業務スーパー事業/四半期別・売上高(会計期間)



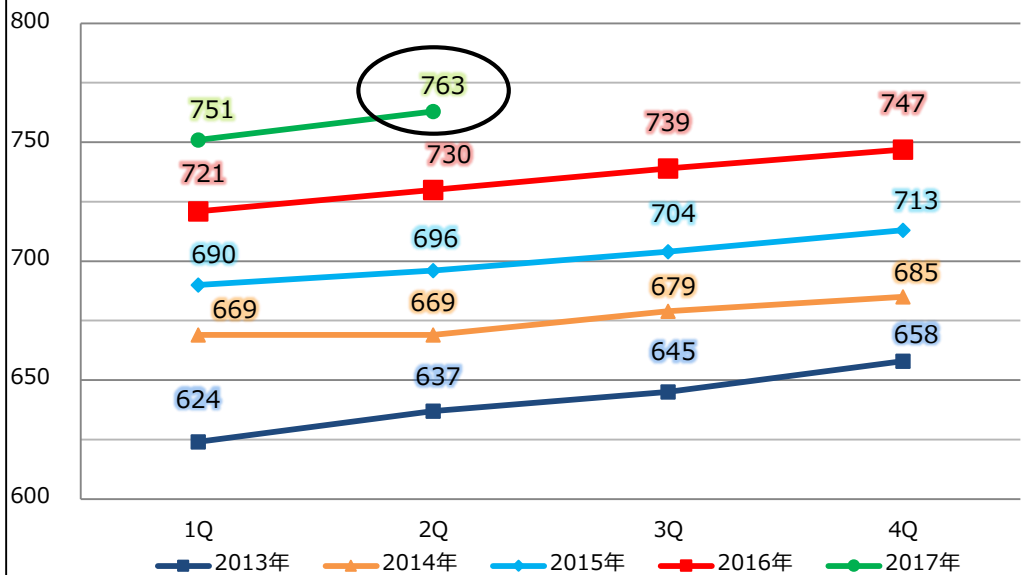
<億円> 業務スーパー事業/四半期別・営業利益(会計期間)

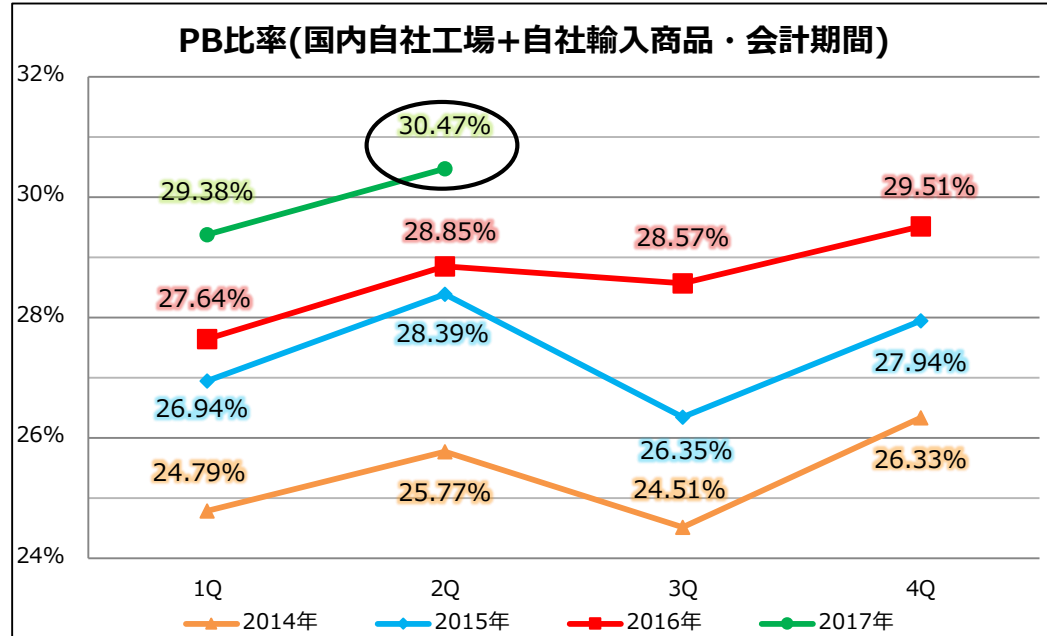
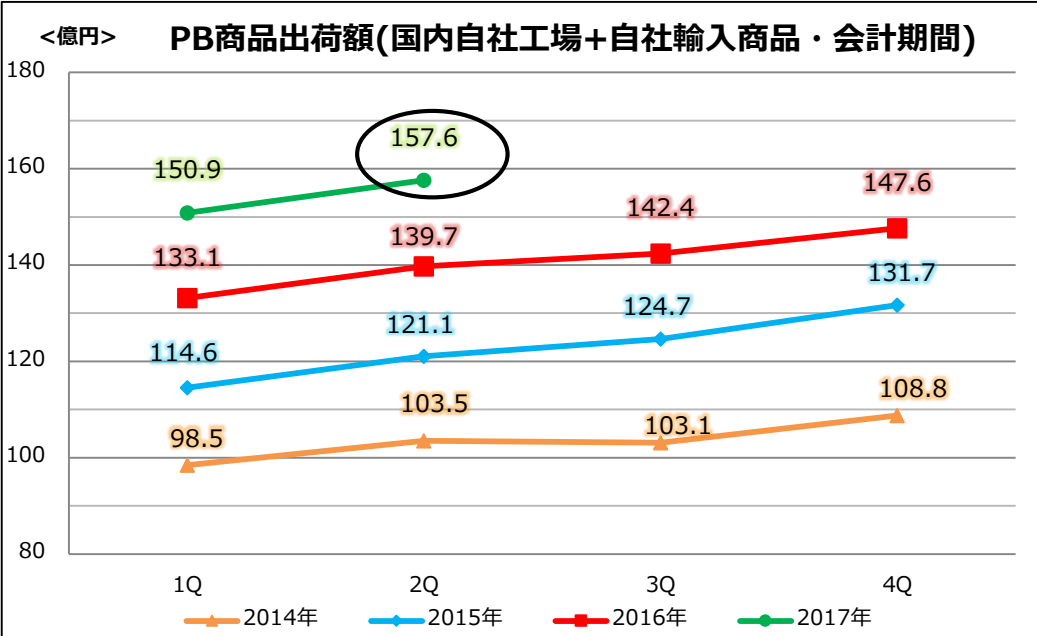
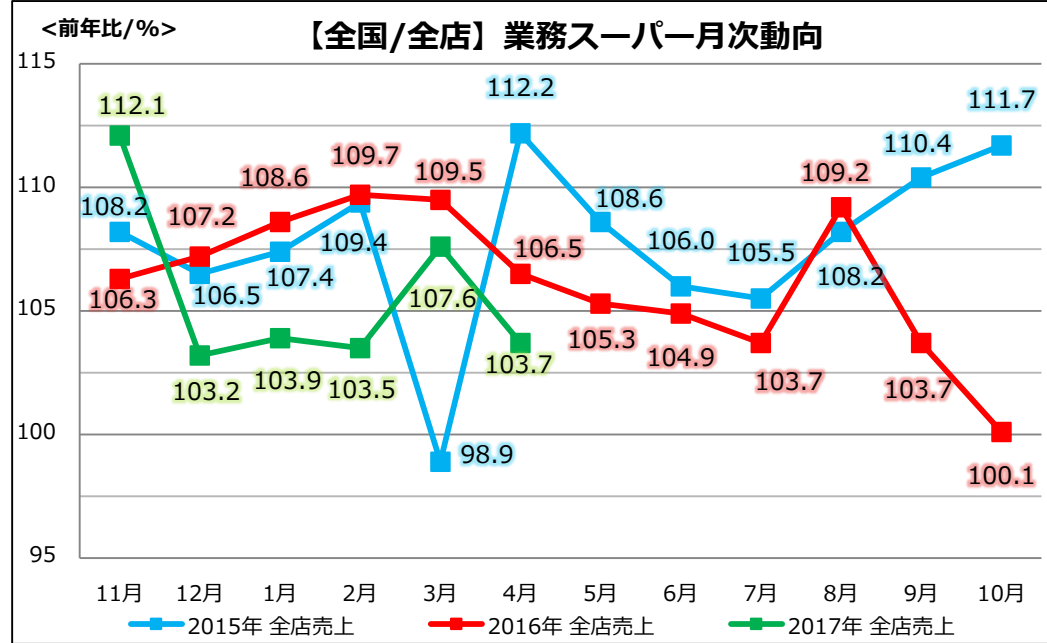
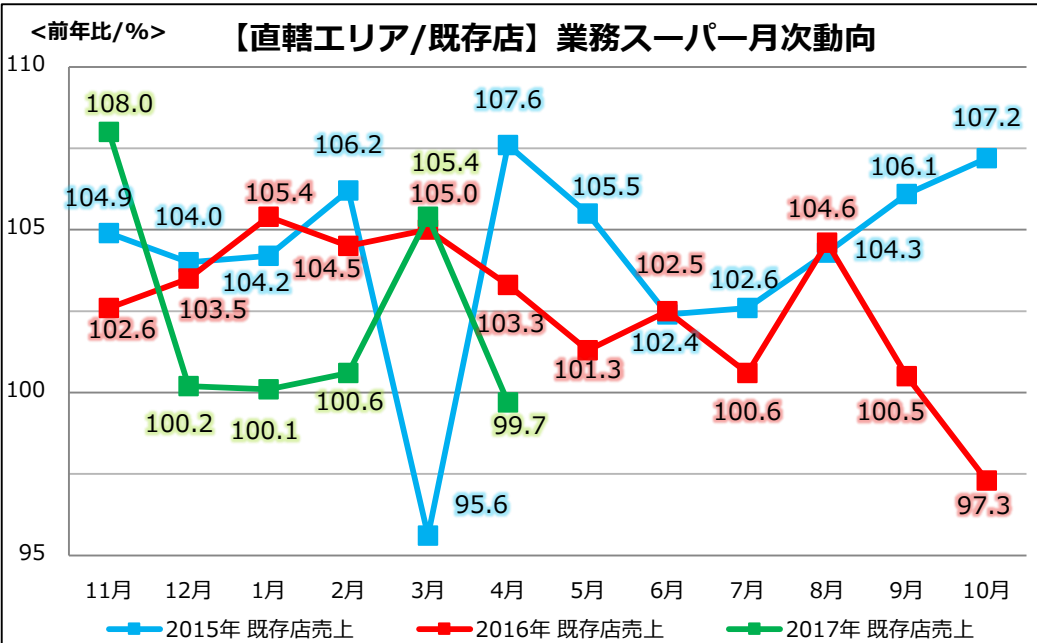


業務スーパー事業/四半期別・営業利益率(会計期間)



<店> 業務スーパー店舗数(四半期末)

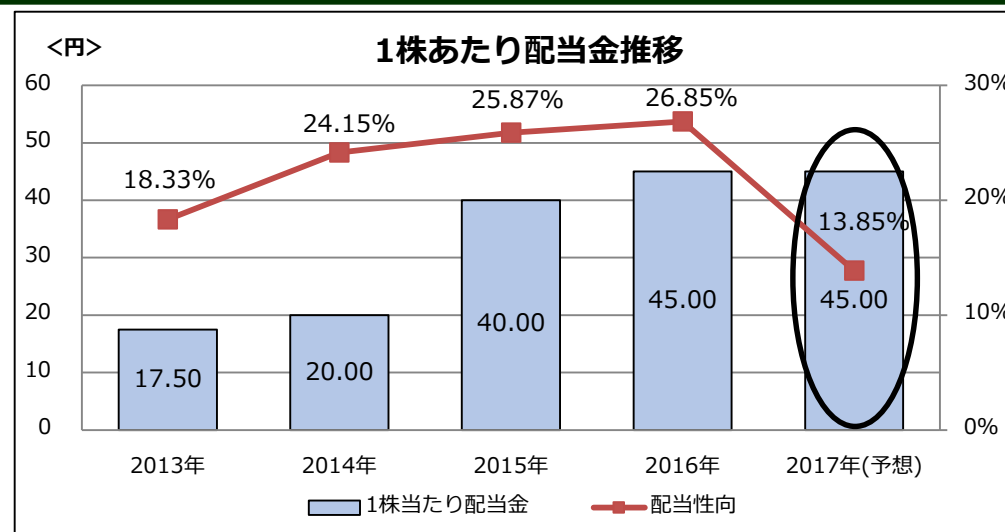




## 配当金推移

当社は株主様に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しております。配当性向の目標値は定めておりませんが、事業拡大のための資金を確保しつつ、経営成績に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。

2017年10月期は、例年通り年1回の期末配当で、1株あたり45.00円を実施する予定でございます。



※2015年2月及び11月にそれぞれ1:2の割合で株式分割を実施しておりますので、2015年以前の配当金は株式分割を考慮した金額となっております。

## 株主優待制度

毎年10月31日を基準日とし、当社株式を100株以上保有の株主様に、全国の業務スーパー各店でお使いいただける「業務スーパー商品券」をお届けしております。株主優待をきっかけに業務スーパーをご利用いただき、当社の主力事業である業務スーパーの魅力が株主様によりよく知っていただきたいと考えております。

保有株式数	優待の内容
100株以上500株未満	業務スーパー商品券 3,000円分
500株以上1,000株未満	業務スーパー商品券 10,000円分
1,000株以上	業務スーパー商品券 15,000円分



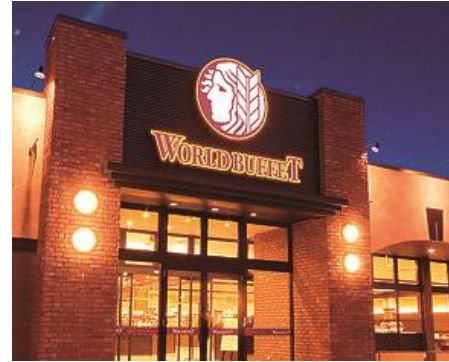
## 業務スーパー事業

当社売上の約8割を占める主力事業です。  
業務スーパー F C本部としての売上、加盟店への卸売などの他、グループの食品加工工場の損益もこのセグメントに分類されます。



## 神戸クック事業

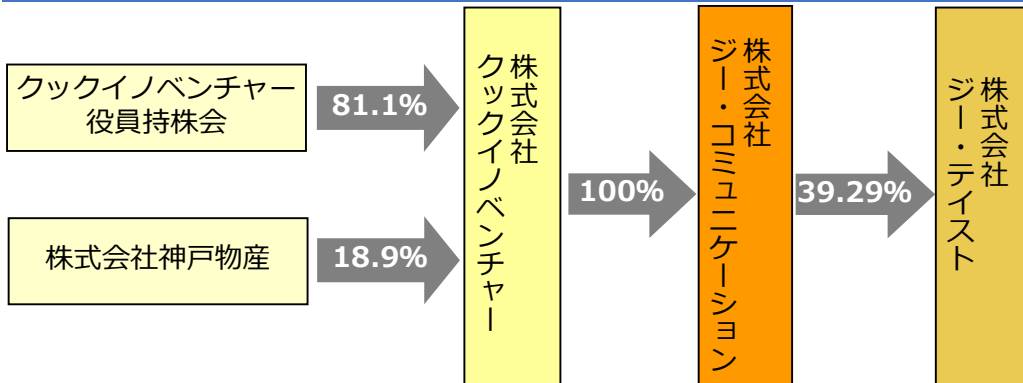
当社が主体となり直営、または F C本部として行っている中食・外食事業です。  
惣菜店「Green's K」やビュッフェレストラン「神戸クックワールドビュッフェ」「Green's K 鉄板ビュッフェ」がこのセグメントに分類されます。



## クックイノベーション事業

当社連結子会社であるジー・コミュニケーショングループが運営する外食事業や教育事業などが当セグメントに分類されます。  
中でも、株式会社ジー・テイスト（東証 JASDAQ:2694）が運営する外食事業が主な事業です。

### 相関図



## エコ再生エネルギー事業

2012年よりスタートしたメガソーラー発電事業を中心とした再生可能エネルギー事業です。現在、地熱発電や木質バイオマス発電の売電開始に向け、準備を進めております。



## その他

温浴リゾート施設「ホットラグーン大分」などの観光事業や輸入食品店「ガレオン」がその他に分類されます。





## 第一次産業

### 農業

日本国内に広大な土地を所有し、北海道では大型農機を使用した日本最大規模の農場で、主にじゃがいもやかぼちゃ、にんじん等の作物を中心に、栽培から収穫、出荷までを一貫して行っております。

また、収穫された作物の一部を国内の自社工場で原材料としても使用する取り組みも行っております。いつ、どんな農薬・肥料をどれだけ使用したのか、「食のトレーサビリティ」を明確にする最も重要な役割を担っております。



### 水産業

宮城県石巻市で2隻の漁船を所有し、漁業を行っております。東日本大震災の復興支援も兼ねて、水揚げした魚介類は現地の市場に卸しております。



### 養鶏業

岡山県のグリーンポートリーにて「吉備高原どり」、群馬県の朝びき若鶏にて「上州高原どり」の養鶏を行っております。

処理された鶏を、当社独自の温度管理と菌数管理により、新鮮なまま24時間以内に一部の業務スーパーに出荷しております。



## 第二次産業

### 国内外の自社工場

神戸物産むかわ工場  
大連福来休食品有限公司  
神戸物産（安丘）食品有限公司  
株式会社オースターエッグ  
株式会社ターメルトフーズ  
株式会社ソイキューブ  
秦食品株式会社  
株式会社マスゼン  
株式会社肉の太公  
株式会社麦パン工房  
宮城製粉株式会社  
株式会社エコグリーン埼玉

株式会社グリーンポートリー  
珈琲めめ工房株式会社  
ほくと食品株式会社  
豊田乳業株式会社  
株式会社富士麺業  
関原酒造株式会社  
菊川株式会社  
株式会社朝びき若鶏

合計 20社 24工場

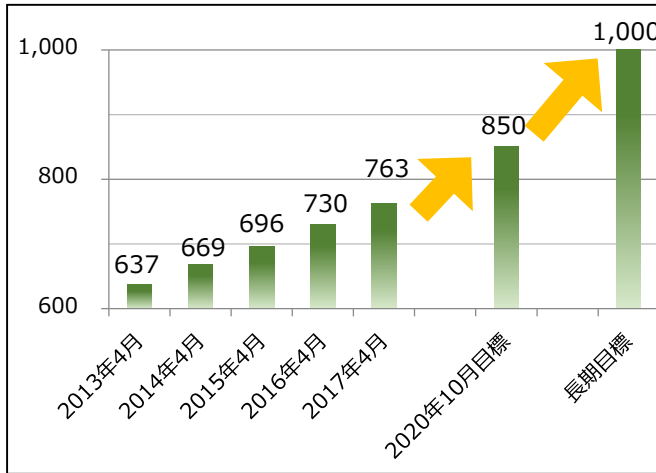


### 国内自社食品工場数 日本一

当社はこれまで、日本国内において自社食品工場の増強を図って参りましたが、その結果、日本国内での100%出資の食品工場所有数は21工場となり、食品小売業界で「日本一」(※)になりました。

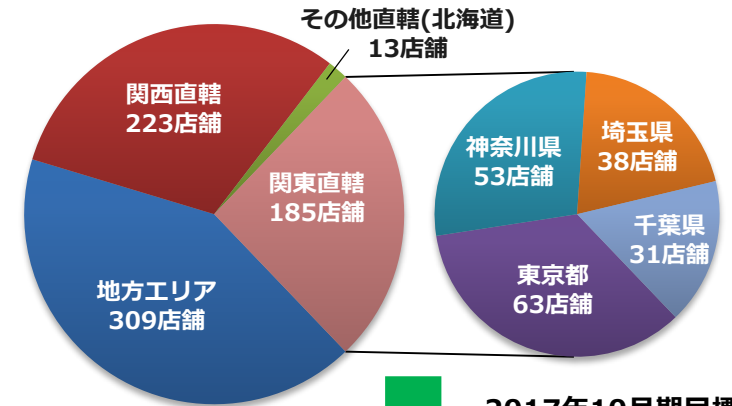
※大手調査機関により、食品小売業界で当社より売上規模が大きく、且つ100%出資の国内食品工場を所有している会社を対象として2014年8月に調査

店舗数推移（単位：店舗）



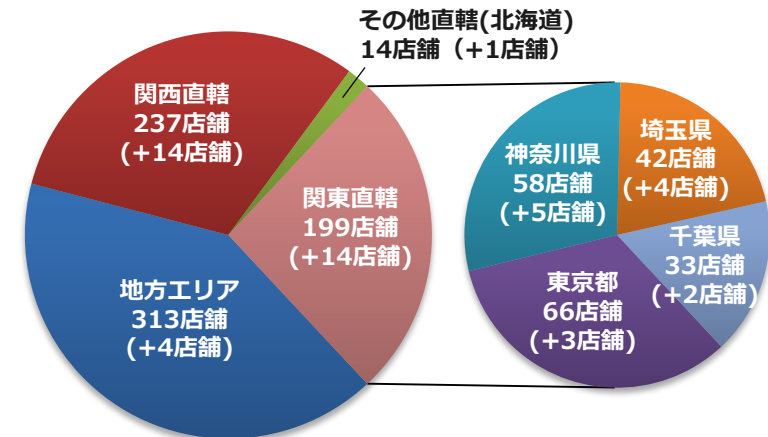
地域別・店舗数

2016年4月末 **730店舗**



2017年10月期目標 **777店舗(+30店舗)**

2017年4月末 **763店舗(+33店舗)**



- 関東直轄：東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県
- 関西直轄：大阪府・京都府・兵庫県（淡路島除く）・奈良県・和歌山県・滋賀県
- 九州直轄：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県
- その他直轄：北海道
- 地方エリア：上記以外の県

※平成29年4月1日より、これまで地方エリアであった九州地方（一部県を除く）を直轄エリアといたしました。

## 類を見ない販管費の低さ

業務スーパーでは徹底的な「ローコストオペレーション」を実施することで約14%という圧倒的な販管費の低さを実現し、商品の販売価格を押しさえながらも店舗に利益が残る仕組みを構築しております。

例えば、人件費を削減するために「ダンボールのまま商品を陳列する」「冷凍ケースや陳列棚を大きめの特別サイズにし、一度に商品一箱全てを品出しできる」「発注などをシステム化し、データを自動処理する」といった工夫を行っております。



## オリジナル商品の強化

国内の自社食品加工工場数は21工場となり、その所有数は**日本一(※)**の規模です。そこで製造される業務スーパーにしかない品質と価格のオリジナル商品は、多くのお客様から支持されております。

また、約40ヶ国から直輸入している「世界の本物」の食品は、世界各国の本場の味をリーズナブルにご家庭でも味わっていただくと、大変好評です。



※大手調査機関により、食品小売業界で当社より売上規模が大きく、且つ100%出資の国内食品工場を所有している会社を対象として2014年8月に調査



## セールによる新規顧客の獲得

2016年10月期はインターネット広告と宣伝カーを活用し業務スーパーの販売促進に注力いたしました。今期はそれに加えてテレビCMを活用した販売促進を行っております。業務スーパーの魅力をより多くの方にお伝えできるよう、今後も効率的な施策を行ってまいります。

### 円安だけど還元SALE（2017年3月1日～4月30日開催）

当社は「世界の本物を直輸入」をコンセプトに約40ヶ国の協力工場から多くの商品を自社輸入し、お客様に世界の本物の味をお届けしております。円安により輸入品の仕入れコストは上昇しておりますが、当社はお客様に安く商品をお届けできるように日頃からコスト削減に取り組んでおり、運営においてもムダ・ロス・非効率を排除したローコストオペレーションを行うことで、この度「円安だけど還元SALE」を実施することができました。

また効率的に「円安だけど還元SALE」を広く宣伝するために、昨年の「円高還元SALE」実施中に走行いたしました「水ようかんカー」をリニューアルし、今セール中も街中を走行しております。この宣伝カーはグループ工場の豊田乳業株式会社が製造する牛乳パックデザートシリーズをモチーフとしております。

それに加えて本セールではテレビCMも活用し、セールの開催をより多くのお客様にお知らせしております。



水ようかんカー(宣伝カー)

**業務カレー**  
甘口・中辛・辛口 各200g

各 **99円** 税別  
¥106.92円

**ドイツ産  
チョコレート**  
ミルク・ビター 各100g

各 **97円** 税別  
¥104.76円

セール目玉商品（一例）

セールポスター

### 【業務スーパーへの出荷実績(前年比) : %】

		2017年10月期						
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期
直轄エリア	既存店	108.0	100.2	100.1	100.6	105.4	99.7	102.3
	全店	112.2	103.3	103.9	104.4	110.2	105.5	106.5
全国*	全店	112.1	103.2	103.9	103.5	107.6	103.7	105.6

\*全国は直轄エリア+地方エリア店舗への商品出荷実績となります。

## 【新しいお客様の取り込み】

業務スーパーでも世界各国の輸入品を扱っておりますが、なかには調理方法のわかりにくいものや、業務スーパーのお客様の需要とマッチしないものがございました。ガレオンでは輸入食品を求めてご来店いただけていることや、試食などの実施により、業務スーパーとは異なるお客様を取り込むことに成功しております。

## 【都市部への出店】

ガレオンは業務スーパーよりも小型店舗であるため、これまで業務スーパーでは出店しにくかった駅ナカやショッピングモールなど、都市部への出店も可能です。

## 【ガレオンと業務スーパーの相乗効果】

ガレオンの店舗が増え、スケールメリットが生まれることで、その商品を業務スーパーでも扱えるようになり、業務スーパーの品ぞろえの強化にもつながります。

店名の「ガレオン」は、16世紀半ばから18世紀に大型商船として世界中を航海し、活躍した帆船の型式「ガレオン」に由来しております。ガレオンではその帆船のように世界の名物や魅力的な食品をお客様にお届けしております。

## 2015年12月17日 オープン

### 元住吉店（川崎市中原区）



## 2016年11月19日 オープン

### 大雄山ヴェルミ店（神奈川県南足柄市）



ガレオン  
初のFC店舗!

## 2016年3月24日 オープン

### クイーンズスクエア横浜店（横浜市西区）



輸入品の他にも日本各地の名産品などを取りそろえております。また、お菓子のつま放題や試食の実施など、業務スーパーとは異なる施策を行っております。

ガレオンでは初めて本格的なカフェスペースを併設。新たな需要の取り込みを行っております。





## 神戸クックワールドビュッフェ

店舗数：15店舗（2017年4月末現在）

### 神戸クックワールドビュッフェとは

- 神戸クックワールドビュッフェは、世界各国の様々なお料理を時間を気にせずゆっくりと召し上がっていただけるビュッフェスタイルのレストランです。
- 店内では臨場感やワクワク感あふれるライブキッチンもあり、「できたて」「おいしい」「楽しい」を五感で感じていただけます。
- 神戸物産グループでは、独自の食品加工ノウハウを駆使し、六次産業の取り組みを外食事業にも活かすことにより、神戸クックワールドビュッフェでしかできないクオリティの高いオリジナルメニューを提供しております。

### 新たな取り組み

神戸クックワールドビュッフェでは、年間を通してお客様にお楽しみいただける様々なイベントを実施しております。

イベント期間には期間限定メニューの提供や、ガラポン抽選会等を行っております。お客様に何度も通っていただけるように、イベントごとに違った雰囲気演出しております。



## ■神戸クック事業のその他の業態



### Green's K

店舗数：10店舗（2017年4月末現在）

自社工場で製造された専用の食材を店舗で組み合わせて調理し、出来立ての惣菜やお弁当を提供する惣菜店です。



### Green's K 鉄板ビュッフェ

店舗数：2店舗（2017年4月末現在）



ビュッフェとセルフクックが融合した新感覚レストランです。お客様ご自身で自由にメニューをアレンジいただけます。





## ジー・コミュニケーショングループとの業務提携



2013年に神戸物産グループはジー・コミュニケーショングループと業務提携いたしました。当社が取り扱う輸入食材や自社グループ工場の商品を株式会社ジー・コミュニケーションが運営する外食店舗約700店舗に提供することで、当社はよりスケールメリットが生まれ、食材を無駄なく供給することが可能になります。また、ジー・コミュニケーショングループは安定した仕入れに繋がることになり、シナジー効果を生み出しております。

当社は六次産業の活性化には第三次産業の強化が必要不可欠だと考えております。この業務提携により業務スーパー以外の第三次産業を拡大することで、第一次、第二次産業もさらに拡大させ、日本最大の六次産業を推し進めております。



## メガソーラー発電

温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>の削減、将来的なエネルギー供給の安定化等の観点から、2012年11月よりメガソーラー発電事業を開始いたしました。

2017年4月末現在、北海道で4か所、兵庫県で4か所、福岡県で1か所、滋賀県1か所の計10か所で約**9.3MW**の発電を開始しております。



### ●稼働中発電所（北海道4か所、兵庫県4か所、福岡県1か所、滋賀県1か所）

発電所名	出力	初期投資額	売電額（想定）	投資回収年数
	(MW)		年額	
クック屋根太陽光発電所（兵庫県）	(29kw)	1,000万円	100万円	9年1か月
稲美町第一太陽光発電所（兵庫県）	1.0	2億8,500万円	4,300万円	7年5か月
稲美町第二太陽光発電所（兵庫県）	2.4	6億4,700万円	1億500万円	7年8か月
稲美町第三太陽光発電所（兵庫県）	1.1	3億3,200万円	4,600万円	8年4か月
むかわ町汐見太陽光発電所（北海道）	0.2	5,300万円	600万円	11年10か月
むかわ町大成太陽光発電所（北海道）	0.6	1億6,300万円	2,500万円	10年3か月
上毛町太陽光発電所（福岡県）	0.9	2億7,400万円	3,500万円	9年2か月
芦別・太陽光発電所（北海道）	2.2	6億5,600万円	8,200万円	11年6か月
平取町太陽光発電所（北海道）	0.4	1億1,800万円	1,500万円	11年3か月
竜王町太陽光発電所（滋賀県）	0.5	1億2,500万円	1,500万円	10年11か月
<b>合 計</b>	<b>9.3</b>	<b>26億6,300万円</b>	<b>2億8,300万円</b>	<b>-</b>

※福岡県田川市及び嘉麻市の発電所は、自社運営よりも売却によるメリットの方が大きいと判断し、売却いたしました。そのため、稼働発電所数などが前年実績より減少しております。

## 木質バイオマス発電

北海道白糠郡白糠町では新たに木質バイオマス発電事業を行うため、2017年3月にバイオマス発電所の起工式を行い、2018年6月の売電開始を目指して、準備を進めております。



北海道白糠郡白糠町





## 地熱発電

日本は世界で有数の地熱資源大国です。地熱は無限に近い地下エネルギーであり、化石燃料（石炭、石油、天然ガス等）の埋蔵量が極めて少ない日本にとって、世界に誇れる地下資源です。

また、地熱発電は再生可能エネルギーの中でも天候・昼夜に左右されず、安定した発電が可能で、発電効率が良く、なおかつ地球温暖化の原因とされている二酸化炭素の排出が少ない、エコロジーなクリーンエネルギーです。



大分県玖珠郡九重町

## 観光事業

地熱エネルギーを活用した観光事業に取り組んでおります。

### 【大分県】温浴リゾート施設「ホットラグーン大分」 <http://www.hotlagoon-oita.com/>

発電に使われる地熱（温水）を二次利用する温浴リゾート施設「ホットラグーン大分」をオープンいたしました。エネルギーを無駄なく活用し、地形を生かした環境にやさしい施設です。露天風呂は水着で入浴できますので、ファミリーやカップルでもお楽しみいただけます。

2016年10月15日 オープン



外 観



露天風呂（全 景）



露天風呂（棚 湯）



露天風呂（岩風呂）



地熱井

### 【北海道】観光果樹園

化石燃料を使わずに地熱（温水）でハウス内を温める温水エコハウスを北海道大沼地区で運営しております。この温水エコハウスを活用し、ファミリーで楽しめる観光果樹園を計画しております。



温水エコハウス



ハウス内の様子（パパイヤ）

今期も引き続き様々な媒体から取材依頼をいただいております。また、マスコミだけではなく、一般のお客様がSNSやブログで業務スーパーのオリジナル商品を話題にさせていただくことも増えております。

放映・掲載	媒体名	種別	取材対象	概要
2017.02.08	「みんなの声×コラミィ」	WEB	業務スーパー商品	「安い」「美味しい」「ボリューム満点」の3点をテーマに業務スーパーの「こだわり生フランク ハーブ入り」「フライドオニオンリング」「やわらか煮豚」など、10品程度を写真と価格などの説明付きでご紹介いただきました。
2017.02.15	北海道テレビ 「イチオシ! モーニング」	テレビ	業務スーパー商品	タレント（出演者）が気になる商品として「牛乳パックデザート」をご紹介いただき、その販売店として、業務スーパーの外観や陳列の様子も放送いただきました。牛乳パックデザートを使った簡単なレシピもスタジオでご紹介いただきました。
2017.03.01	ツーリズムおおいた 「ぐるり」	フリー ペーパー	ホットラグーン 大分	大分県の観光立ち寄りスポットとして、「ホットラグーン大分」をご紹介いただきました。記事では施設の概要を掲載していただきました。
2017.03.07 2017.03.21	産業タイムズ社 「商業施設新聞」	新聞	業務スーパー事業 神戸クック事業	「業務スーパー事業」と「神戸クック事業」の新規出店計画や店舗の概要などについて掲載していただきました。
2017.03.18 2017.03.19	マッシュメディア「イロリオ」 Jキャスト「Jタウンネット」	WEB	水ようかんカー	「水ようかんカー」がツイッターで話題になっていることを受けて、作成の経緯などを写真付きで掲載していただきました。
(1) 2017.03.19 (2) 2017.03.26	AbemaTV 「違う de SHOW!」	スマート フォン	業務スーパー商品	各社の商品の特徴をご紹介いただき、食べ比べなどをして出演者が味を評価する番組にて、当社商品をご紹介いただきました。当社商品はコストパフォーマンスの面で高評価をいただきました。 (1)業務スーパーのポテトチップス（オリジナル） (2)業務スーパーのドイツ産ミルクチョコレート
2017.03.28	光文社 月刊「Mart」5月号	雑誌	業務スーパー商品	読者の中でヒットしているものを紹介する企画「これHIT通信」にて、さいたま市中浦和の業務スーパーを愛用している読者の方に「手軽に楽しめるキャビア」として「カペリンのキャビア」を推薦していただきました。記事では商品の食感や使い方をご紹介いただきました。
2017.04.22	株式会社ビジネスチャンス 「ビジネスチャンス」	雑誌	神戸クック事業	大手資本によるFC戦略ページ欄で、「神戸クックワールドビュッフェ」をご紹介いただきました。ワールドビュッフェの提供価格や店舗の広さ、加盟条件などについて掲載していただいております。
2017.04.24	新京成電鉄 「おでかけ日和」	フリー ペーパー	鉄板ビュッフェ 千葉ニュータウン店	「成田日帰り旅の満腹ビュッフェBest3」の2位として、ご紹介いただきました。住所や電話番号、料金、店内写真などの店舗概要を掲載いただきました。

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
連結・通期	2016年10月期 通期実績	百万円 239,266	百万円 11,833	百万円 8,729	百万円 4,560	円 銭 174.46
	2017年10月期 通期予想	252,400	13,800	14,400	8,500	324.81
	前年比(%)	105.5	116.6	165.0	186.4	-
単体・通期	2016年10月期 通期実績	212,781	9,203	6,142	4,197	160.60
	2017年10月期 通期予想	224,700	-	10,700	7,100	271.31
	前年比(%)	105.6	-	174.2	169.1	-

\* 2017年6月8日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、通期業績予想を上方修正いたしました。

## 中期経営計画

	売上高	営業利益	1株当たり 当期純利益	ROE	自己資本比率	D/Eレシオ
2016年10月期 通期実績	百万円 239,266	百万円 11,833	円 銭 174.46	% 29.1	% 12.4	倍 4.8
2020年10月期 通期目標	285,000	15,000	300円以上	每期20.0%以上	20.0%以上	2.0倍以下

- ・国内業務スーパーの店舗数を2016年10月末の747店舗から850店舗への増加を目指します。
- ・業務スーパー事業のセグメント売上高を2016年10月期の2,055億円から2,450億円への増加を目指します。
- ・神戸クック事業の外食・中食店舗を2016年10月末時点の28店舗から40店舗への増加を目指します。
- ・食品工場のM&Aを推し進め、国内自社工場によるPB商品の増強を図ります。
- ・PB商品の開発を強化し、2016年10月期で560億円の取扱高を750億円に高めます。

- 本資料には、2017年6月16日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれます。
- 経済環境の変動など不確定要因により実際の業績が記載の予想と異なる可能性がありますのでご了承ください。
- 本資料は株式の購入の勧誘・奨励を目的としたものではありません。

---

～本資料に関するお問い合わせ先～

株式会社神戸物産

経営企画部門 IR・広報室 花房・柴田

TEL：079-458-2848

FAX：079-454-2300